

令和4年度 園評価

北沼上こども園

評価段階 (A:大変良い B:まあまあ良い C:あまり良くない D:全く良くない)

| 項目 | 評価指標 | 評価 | 取り組み状況 |
|-------------|-----------------------------------|----|--|
| 組織体制の充実 | 組織の一員として役割を自覚し、責任を持って取り組んでいる | B | ・責任を持ち、取り組むよう心掛けた ・全体の動きを読み対応したつもりだが、伝達や役割分担など、課題も多い。 |
| 資質・専門性の向上 | 専門性の向上に努めている | C | ・研修参加、専門書などで知識を学び、現場と結び付ける事が出来るようにしたが、まだまだ向上しなければならないと感じる。 |
| 安全管理 | 非常時における意識や安全な行動が身に付いている | B | ・訓練は毎月想定を考えながら行い、その後の振り返りをし話合うことをした。 |
| 保健衛生 | 室内や備品等の消毒や掃除を行い衛生管理に気をつけている | B | ・保育室の消毒は、時間で行うよう心掛けた ・子ども達にも、着替えや手洗いの仕方を知らせ、衛生面に配慮した。 |
| 研修体制の充実 | 園内研修や園外の研修に参加したり報告を見たりして学びを深めている | C | ・研修内容の組み立てや方法を考え、互いに学べるように心掛けた ・昨年よりも園内研修への参加機会が多かったが、もっと積極性が求められる。 |
| 職員間の相互理解・協働 | 情報の共有をしたり、分担したりし、職員同士の理解に努めている | B | ・行事、保育活動において情報共有して行動できた。もっと、広い範囲で連携をとる事が出来るように工夫が必要である。 |
| 保護者理解 | 保護者のことを安易に話題にしたりしていない、守秘義務に配慮している | A | ・保護者の気持ちに寄り添えるよう配慮し、守秘義務に努める事は概ねできていた。 |
| 重点目標の理解 | 今年度の重点目標を理解している(思いやりや感謝の気持ちを持てる子) | B | ・日々の保育の中での取り組みで、意識した。 ・思いやりとは何か考えながら子どもと接し、子どもや職員にも感謝の気持ちを持つようにした。 |
| | 自分で定めた目標(園長に提出)に向かって努力している | B | ・自分なりに努力したが、悩み、課題を感じる事が多々あった。 ・目標を念頭に振り返りをしながら努力した。 |
| 教育保育要領 | 教育・保育要領や指針等を読み返している | C | ・定期的に読む、必要な時にその都度読み返している職員と、じっくり読むことが少なかった職員とで分かれた。 |

| | | | |
|---------|--|---|---|
| 子どもの育ち | 子どもの活動や結果だけでなく子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程などに目を向けている | B | ・子どもの気持ちに寄り添えるよう、日頃の保育を行い、過程に目を向けることで、子どもの変化にも気付いたり、気を配ったりすることができた。 |
| 振り返り | 日々の振り返りで気付いたことや課題等が指導契約に反映させている | C | ・日々の振り返りはしていたが、すぐに見直すことに取り組むことが難しいことが多くあった。 ・指導計画日誌に反省や振り返った事を記入し、次に同じことをしないよう気をつけたが課題は多い。 |
| | 保育の振り返りで気付いたことや課題等が日々の保育の中で実践できている | | |
| 保育環境 | 季節を感じたり、発達に応じた遊びが出来る環境や子どもが主体的に活動できる環境を用意している | C | ・畑、花、イチゴなど世話を継続したが、環境で気には十分とは言えず、遊びの空間にも配慮すべきであった。 ・発達に応じた遊びはもっと勉強が必用と感じる。 |
| 子どもについて | 子どもの気持ちに気付いている | B | ・子ども自身からの表現を待つ対応したり、サインに気付いたらすぐに対応したりできたと感じる。職員同士、情報を共有した。 |
| | 保育教諭同士、子どもについて話し合い、互いの保育について話したり振り返ったりしている | B | ・個々ではそれぞれの視点から子どもの様子を話合う事ができたが、全体で話をする機会を持つことが少なく、振り返りが出来ていなかった。 |
| | 対話を通じた学び合いや子どもの姿や保育の捉え直しができている（自分の決めつけや思い込みを基に子どもを見ていない） | B | ・外部講師を迎え、話を聞いたり指導を受けたりし、自分の保育に対する思い込み等を見直す機会ができた。先入観にとらわれず、意識しながら子どもと向き合うようになってきている。 |

成果と課題

| | |
|----|---|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、課題や改善点を話し合い、園庭環境を工夫し、子ども達が様々な経験が出来るよう計画をたてる事ができた。 ・重点目標「思いやりや感謝の気持ちを持てる子」を達成するために、どのような保育、言葉かけなどの対応をしていくのが良いかを園内研修などで話し合った。 <p>又、外部講師を招いて保育を見ていただき、室内環境や、保育のとらえ方等の課題が明らかになった。アドバイスを受けたことを保育の中に取り入れ、振り返りをしながらより良い保育を目指す意識が高まったと感じる。</p> |
| 課題 | ・様々な保育観をもつ職員同士、お互いが尊重・協力しながらこども園として、ど |

のような援助をしていくのか話し合い、共通理解できるようにしていく。

・自己評価から、日常保育に関しては意欲を持っているが、係や研修に臨む姿勢など職員の意識に差がある。検討会や園内研修等の工夫をし、共通理解をはかっていきたい。